

副会長 基本方針



経済再生委員会 副会長 山路 由剛

和歌山は、古く「紀伊国」と呼ばれていた時代から全国的に見ても大規模な都市が形成されていましたが、近代の工業化において地形形状などの問題から不振にあえぎ、人口減少に歯止めが利かず、地域経済は衰退の一途を辿っています。今こそ、地域を愛し、地域益を追及する我々が先導となり、「和」の精神性に基づいたナショナリズムの旗を掲げ、市民とともに地域の資源と特性を活かした新たな地域経済ブランディングの形成が必要です。

まずは、行なわれるすべての事業や運動の効果を最大化するために、緻密な広報戦略を練り、各委員会や各地会員会議所との連携を図り、厳格な姿勢を以って動員を募ることにより、皆の参画意識を高め、より多くの会員や市民を動員します。そして、各地会員会議所会員同士の絆を深め、運動の連動性を高めるために、会員が一堂に会する和歌山ブロック大会を開催し凛然とした式典にすることで、我々が思い描く「活気に満ち溢れた力強い和歌山」の未来像を皆に伝播し、会員個々の「自分も運命共同体の一員である」という当事者意識を醸成します。さらに、大規模災害発生時の際、行政や市民と手を取り合い迅速な災害支援が行なえる機構を構築するために、有識者の方から「地域特性に適合し防災機能を備えたインフラ整備の重要性」を説いてもらい、地域市民とともに災害に対する知識を深めることで、有事には皆が各々の役割を理解し、的確に判断し行動できる素養を身に付けます。また、我々の運動の火を絶やさぬために、皆でこれまでの活動を振り返りながらそれぞれの想いを紡いでいき、一年間を締めくくることで、次代へとつないでいきます。

自らの使命を理解し高い志を胸に力強く行動し続ける我々の運動が、閉塞的になっていた市民の心に火を灯し自らの地域の魅力を改めて感じます。広がる情熱の炎はまちを明るく照らし、真なる心の豊かさを知った人々によって活気に満ち溢れた和歌山を創造します。

[事業計画]

1. 和歌山ブロック大会の開催 (式典 事業)
2. 総括 事業の開催
3. 総務褒賞委員会との連携による広報戦略
4. 会員拡大支援の協力